

大阪の海に再びミキハウスカップが輝く

ジュニアヨット国際親善大阪レガッタ2013が開催されました



秋晴れの9月22日、大阪北港ヨットハーバーにおいて昨年を引き続き「ジュニアヨット国際親善大阪レガッタ2013（ミキハウスカップ大阪2013）」が開催されました。関西地方に大きな被害をもたらした台風18号の暴風雨から1週間。OP級上級者とトッパー級のレース海面となる淀川の河口は増水の影響で川の流れも激しく、予定通りのレース実施は困難な状況でした。レース委員会の判断で、急遽レース海面をヨットハーバー内ポンドに変更しレースを開始。OP級上級者およびトッパー級は3レース、OP級初級者は4レースを実施することができました。ポンド内のコースは通常よりも距離が短く、マーク設定も変則となったため、参加選手たちは最初のうちは戸惑った様子でした。それでも目の前のポンツーンからの保護者や仲間の声援を受け、ギャラリーと一体となりレースを楽しんでいました。



トッパー級のレースに、ウインドサーフィンの松浦選手（かんとりーは一ぱ一所属）がオープン参加しました。松浦選手は、ミキハウスの須永選手（ロンドンオリンピック日本代表）にあこがれて、2020年の東京オリンピック出場を目指しているとのこと。この大会をきっかけに、松浦選手のように世界を夢見るジュニアセーラーが1人でも多く生まれてくれれば幸せです。



競技終了後はお楽しみのバーベキューパーティー。大阪北港ディンギークラブの皆さん心づくしの料理に花を添えたのは、吉本興業の芸人さんたちです。皿回し、腹話術、バーベキュー芸人のスペシャルメニューなどの楽しいアトラクションがくり広げられ、夕日の大阪湾に、選手たちの歓声がいつまでも響いていました。

この大会に参加したのは、8クラブ（トッパー級7名、OP級上級者15名、OP級初級者7名）。関西だけでなくレーザー光フリート（山口県光市）や湖山池ドリームジュニア（鳥取市）など西日本各地から多数の選手たちが集う大会になりました。レース後に行われた表彰式では、特別協賛のミキハウスからの豪華な賞品が入賞者のみならず参加の全選手に手渡され、選手よりもお父さんお母さんたちが大喜びしていたようです。



この大会をサポートくださったミキハウスの皆様、なかでも会場設営や運営のお手伝いで汗を流していただいた社内定者の皆様ありがとうございました。

